

人にやさしいまちを目指して
～平成 29 年度 早島町福祉映画会～

家族の日

ロケ地：岡山県高梁市

絆を失いかけた家族の
ひと夏の物語

田舎で
ノビノビ育てる!

会社は？学校は？
スーパーは？

まじ
むかつく

虫と
ピーマンは
苦手だよ

ケンちゃんタ
ケンちゃんタ

平成 30 年

2/12 月

開演 13:30

(開場 13:00)

(閉演 15:30)

入場無料

会場 早島町町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール (都窪郡早島町前瀬370-1)

申込

入場整理券を発行しますので、事前に下記までお申し込みください (日曜以外開館)。
託児や介助等、鑑賞にあたり何らかの配慮が必要な方は 1/31 迄にお申し出下さい。

社会福祉法人 早島町社会福祉協議会 (事務局 TEL 086-482-3000)

<http://www.hayashima-shakyo.jp> E-mail: fukushi@hayashima-shakyo.jp

【共催】早島町

【協力団体】早島いぐさ手話サークル、はやしま朗読ボランティア福来朗、早島要約筆記サークルペンしるゝ、パンボラはやしま、絵手紙ボランティアやまびこ、日曜大工ボランティアとんかち、コミュニケーション麻雀を広める会、運転ボランティアくるりん、給食ボランティア (クローバー・コスモス・スプリング・たんぼぼ・マスカット・ひまわり会・スマイル若宮・市場撫子の会)、ふれあい・いきいきサロングループ (24グループ)、早島町民生児童委員協議会、早島町福祉活動員協議会、特定非営利活動法人ふれあいネットはやしま、早島町婦人会、早島保護司会、早島町更生保護女性会

人間独りでは
生きられないん
だ



伊原 剛志

もし、戻るんだ
ったら全員で
戻るべきよ



田中 美里

東京からこちら
にUターンして
きました



平田 満

田舎は頭が
固すぎます



川中 美幸

教え子が二人
になって楽しみ
です



大竹まこと

困ったことがあ
ったらなんでも
ゆ〜て〜よ



川上麻衣子

大丈夫、大丈夫
と星が来る



岸部 一徳

「おはよう」って起きて、「美味しい」って食べて
「ありがとう」って、一日が終わる、家族の日

「うちの子がいじめを!？」

したので、中学校に行って謝罪を

「うちの子がいじめを!？」

受けたので、小学校に行って抗議を

加害者と被害者の親に、同時になってしまった

君原信介は、家族を前に宣言します

「お前たちは田舎でノビノビと育てる」

「会社は？学校は？スーパーは？」と、不安げな妻の喜美子

「マジむかつく」と、切れかけている長女の絵里

「虫とピーマンは嫌いだ！」と、気の弱い長男の好太郎

唯一人、次男の真琴だけが「カブトムシさんいるかな？」と興味津々

東京から岡山県高梁市へ、バラバラの思いのまま君原家は移住しま

す・・・

しかし、そんな田舎生活が順調に行くワケもなく

ついに信介は東京へのリターンを決意します

その頃、真琴は山奥に独り住む"ターザン"と呼ばれる、正体不明の老

人と仲良くなっていました

鶏の生き血を啜って生きている！と、過剰に恐れられているターザン

なのですが

どういう訳か真琴が気に入る"ケンちゃん"の呪文を教えてください

この呪文を唱えた途端、弱っていたカブトムシが何故か元気になり

真琴はターザンが大好きになってしまいます

そして事件です！真琴が行方不明に！

駐在が走る、帽子が山で見つかり、パトカーも来て、ターザンが誘拐

したことになり

消防団が集められ山狩りが始まります。が見つかりません

真琴は無事に戻ることが出来るのでしょうか？

そして君原家は真の「家族の日」を迎えることができるのでしょ

うか？

監督：大森青児 脚本：富川元文 音楽：渡辺俊幸 総合プロデューサー：安利香 プロデューサー：森 平人

撮影：皿井良雄/山下 昭 CG製作：鈴木英雄 音響デザイン：吉田秋男 音声：佐藤善次郎 特機：瀬利重成 照明：宮本文太

編集：狩森ますみ 記録：柳川泰子 録音：木村冬樹 ブーム：榎本岳志 映像技術：辻 克喜

美術：藤井俊樹 題字：竹内志朗 装飾：荒川あけみ/西田知史 ヘアー・メイク：多久島美砂/早藤みち子 衣裳：小城千恵/戸高幸子

スチール：中村光博 エンドロール：岡本 崇 ポスターデザイン：小島進也/藤枝麻衣子

協力：高梁市/岡山市/たかはしフィルム・コミッション/高梁市観光協会 企画・制作・配給：花三

kazukunohi.jp

facebook.com/kazukunohi.movie

#家族の日